

ぎふ地域の絆づくり 支援センターだより

—— 地域で活発な活動団体を紹介します! ——



清流の国ぎふ

岐阜県環境生活部県民生活課
ぎふ地域の絆づくり支援センター
〒500-8570
岐阜市数田南2-1-1 (県庁9階)
電話 058-272-8199

第33号

令和5年6月発行

41 古井まちづくり協議会 (美濃加茂市)

活動地域：美濃加茂市

活動拠点：「古井まちづくり協議会」 会長：白木 和康

地域の概要

美濃加茂市は、岐阜県の中央南部に位置し、雄大な木曾川が流れている。

今回紹介する古井地区は美濃加茂市の南部地域で、市の8つの地区の中で最も人口が多く、小学校、中学校、高等学校や図書館、文化会館などの教育施設が集まる便利で住みやすい街になっている。また、外国人の割合が多い地域でもある。

【地区データ】(令和5年4月1日現在)

人口：17,267人 世帯数：7,324世帯

アンケートに基づく明確なビジョン

地域住民1,500人にアンケートをとり、住民が考える重要度と満足度を把握。

この結果を元に、「住んで楽しい古井のまち」を目指す姿とし、以下の6つの項目を重点的ビジョンとした。

① 多様性を受け入れるまち

- 多文化共生・外国人との地域住民の交流
- ひきこもり対策
- 自治会未加入者への対応

② 生活環境が整備されたきれいなまち

- 生活環境の整備
- 不法投棄(ゴミ)対策
- 道路の清掃・環境整備

③ 防災・防犯に強いまち

- 防災活動・消防活動
- 災害時の要支援者への対応
- 子どもの安全支援
- 空き家対策の支援

④ 高齢者がイキイキ生きるまち

- 高齢者の暮らしのサポート
- 公共交通の利便性

⑤ 地域で繋がる健康増進のまち

- 健康づくりの機会や場づくり

⑥ 子どもが元気に育つまち

- 子どもと大人の顔が見える関係づくり
- 放課後の居場所づくり
- 未就園児の親子の支援

古井まちづくり協議会の歩み

【設立前の状況】

- ・ 古井地区内に連区という単位でのまとまりが6つあり、地域によって特徴、課題が異なり古井地区と総じて活動を行うことは困難だと考えられていた。
- ・ まちをよくしようと活動する団体は複数存在。
- ・ 美濃加茂市として地区毎にまちづくり協議会を設置する動きがあった。

【準備・準備会発足】

⇨モデル地区：三重県名張市を視察・勉強

⇨地域住民約100人参加の課題出しワークショップを実施。

アンケート項目を作成し、住民アンケートを実施(1,500人)。

⇨アンケート結果を元に議論を重ね目指す姿とビジョンを明確にする。

⇨古井まちづくりニュースの発行
ワークショップやアンケートの結果を地域の方へ報告。



平成二十九年

令和元年

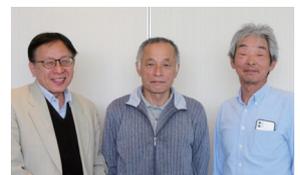
令和2年

【古井まちづくり協議会設立(令和3年6月)】

地域の人々が主体となってまちづくりができるよう、活動の課題を共有し、活動を支える、「中間支援の役割」を果たす、まちづくり協議会を設立。

主な活動内容

- ① 住民、活動団体が繋がる「場づくり」
- ② 次世代を担う「人材育成、発掘」
- ③ 地域課題解決に向けた「団体支援」



活動事例

① 場づくり

●古井まち活発表会の実施

<活動の魅力を知ってもらい、興味を持ってもらう>

古井地区で活動する6団体の活動発表と意見交換会を行い、参加者52名が意見やアイデアを共有した。

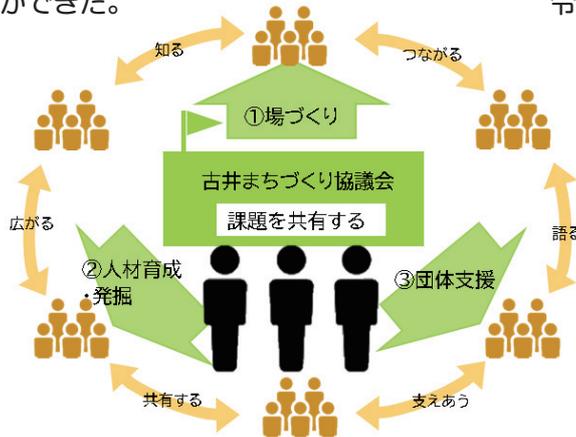
各々で取り組んでいた団体が活動の場を広げ、それぞれの特性を知りつながることができた。



活動発表



意見交換会



③ 団体支援

●助成金制度スタート

<地域課題解決を目的とした新しいチャレンジの促進>

古井まちづくり協議会の予算の中で、登録活動団体の活動を応援。令和4年度は4つの団体が利用。



多文化共生 花もちづくり体験教室



子ども大人も見える関係 いど畑フェスタ



気軽に集まれる ワンコインカフェ「憩」

② 人材育成・発掘

●まちづくり × 仲間づくり

<古井まちづくり協議会登録団体：ワンコインカフェ>

高齢化の進む団地に13名の支援者が集まり、地域の集会所を利用してカフェをオープン。月に2回コーヒー等をワンコイン（100円）で提供している。地域の方々の「健康長寿」を目指し、誰でも気軽に来て、楽しくお喋りできる場づくりをしている。今後は、古井地区内でもワンコインカフェの動きが広がっていくよう古井まちづくり協議会でも支援していく。

パワーアップ事例

それぞれ清掃活動に取り組んでいた2地区の団体が力を合わせ、清掃活動を合同開催。場づくり事業に参加した団体同士が繋がり、普段より規模の大きい清掃活動ができた。



←小中高等学校 ボランティア 約120名が協力。

ガードレール→も真っ白に。



2つの地域のスタート地点からゴミ拾い清掃を始め、繋がった地点をゴールとした。今年さらにはエリア **拡大予定。**



取材を終えて

まちをよくしようとする方が声をあげ活動し、その姿を見て“私も”と手をあげる人が集まっていく。この実例のある古井地区は、アフターコロナとなる、これから、さらに発展する地域なのではないかと感じました。まちのために活動してくれる大人の背中を見て育った子供たちは、きっと未来の担い手となって、繋げてくれると思います。

関係者の皆様には、お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。

ぎふ地域の絆づくり支援センターからのお知らせ

「岐阜県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が2022年10月1日に全面施行されました

- 定期的な点検整備の努力義務
- 自転車損害賠償責任保険等への加入義務
- ヘルメットの着用努力義務

